

第5回 KPU シンポジウム報告書

2014年4月30日(水)、京都薬科大学・躬行館 T31 講義室において第5回 KPU シンポジウムを開催いたしました。特別講演として三重大学医学部附属病院・薬剤部の村木雄一先生ならびに小野薬品工業株式会社・医薬品化学部の長縄厚志先生をお招きして、それぞれ「京都薬科大学で学んだ研究マインドやスキルは臨床薬剤師の新時代を拓く～すべては患者さんのために～」および「創薬研究～プロスタグランジン受容体拮抗剤の創出～」という演題でご講演頂きました。また、一般講演として中山祐治教授、山岸伸之准教授、中村誠宏准教授、石原慶一講師および西田健太郎助教の5名の学内教員による最新の研究成果について発表して頂きました。合計397名の多くの学生や教員の方々がご参加くださいました。今回は特に、1年次生の参加者が多かったのが特徴です。また、シンポジウム終了後に開催した交流会では、多くの学部学生が特別講演演者の村木先生や長縄先生、また一般講演演者の先生方を囲んで質問をしており、18時30分頃まで活発な討論が続きました。今回も座長先生方をはじめ多くの先生方からの多大なご協力を頂きましたことを深謝致しますとともに、今後とも引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

KPU シンポジウム実行委員会一同

1. シンポジウム概要

日時：2014年4月30日（水） 13:30～17:30

場所：京都薬科大学躬学館 T31 講義室

開会の挨拶

乾 賢一 学長

特別講演（1）13時40分～14時30分

座長：後藤 直正 教授

「京都薬科大学で学んだ研究マインドやスキルは臨床薬剤師の新時代を拓く～すべては患者さんのために～」

三重大学医学部附属病院薬剤部
副薬剤部長 村木優一 先生

一般講演（1）14時30分～15時00分

座長：長澤 一樹 教授

「エンドサイトーシスによる線虫受精卵の非対称分裂制御」

中山祐治 教授（生化学分野）

一般講演（2）15時10分～15時30分

座長：濱 進 講師

「カルシウム結合タンパク質 Sorcin による多剤耐性獲得機構の解析」

山岸伸之 准教授（RIセンター）

一般講演（3）15時30分～15時50分

座長：小島 直人 講師

「天然薬物を素材とした生体機能性成分の探索」

中村誠宏 准教授（生薬学分野）

一般講演（4）15時50分～16時10分

座長：高田 和幸 助教

「オミクス解析を利用したダウン症マウスモデルの胎児および成体脳での病態関連分子の同定」

石原慶一 講師（病態生化学分野）

一般講演（5）16時10分～16時30分

座長：藤井 正徳 准教授

「抗がん剤オキサリプラチンによる末梢神経障害発症機序の解明」

西田健太郎 助教（衛生化学分野）

特別講演（2）16時40分～17時30分

座長：赤路 健一 教授

「創薬研究～プロスタグランジン受容体拮抗剤の創出～」

小野薬品工業株式会社水無瀬研究所医薬品化学研究部第一研究室
長縄 厚志 先生

閉会の挨拶

長澤 一樹 教授

茶話会 17時20～18時30分

